

会 議 録

令和7年2月28日作成

会 議 の 名 称	令和6年度第3回島本町立第二中学校学校運営協議会		
会 議 の 開 催 日 時	令和7年2月28日（金） 午後4時00分 ～ 午後5時00分		
会 議 の 開 催 場 所	島本町立第二中学校 3F 図書室	公開の可否	☒ 可 ・ 一部不可 ・ 不可
事 務 局 （ 担 当 課 ）	山田 敏博（校長） 加藤 崇（教頭） 三上 裕貴（首席）	傍聴者数	0名
非公開の理由（非公開 （会議の一部非公開を 含む。）の場合）	公開		
出 席 委 員	西山 洋子（学校運営協議会会長） 池尾 幸司（学校運営協議会副会長） 南出 孝明（大阪府立島本高等学校 教頭） 幸嶋 成幸（大阪水上隣保館ひびき 館長） 小林 麻美子（本校PTA会長）		
会 議 の 議 題	○令和6年度の取組について（総括） ○令和7年度に向けて ○その他		
配 付 資 料	・ レジューメ ・ 令和6年度島本町立第二中学校経営方針 総括 ・ 令和7年度に向けて（案） ・ 島二だより（学校だより）		

○令和6年度の取組について（総括）

・ 学校長より説明。

【委員】

地域や保護者との連携を深めるためにも避難訓練や集団下校時の地域・保護者の参加や学年行事等の保護者の参観の開会を増やすなど、情報発信と来校の機会を増やすことが大切である。

【委員】

心理的安全性の確保は生徒だけでなく、教職員の働きやすい環境の確保のためにも取り組むべきである。

【委員】

体育の男女共修はコンタクトスポーツ等においては体格の違い等で危険性はないのか。

【事務局】

身体の動かし方や使い方やどのように練習や試合をしたらよいか、それをどう伝えるか等に重点を置いて授業を行っている。コンタクトスポーツでも同様であり、体格差等も含めて考えることとしている。

【委員】

働き方改革について、教職員が働きやすい環境を整えることが重要であるので、推進して行かなければならない。

○令和7年度に向けて

【委員】

不登校生徒の増加が気になる。それに対しての取組を継続して進めてほしい。

【委員】

教職員についても自分自身の健康や心理的安全性をしっかりと確保したうえで生徒に向き合えるようにしてほしい。

【委員】

学校運営協議会として本年度から進めてきたが、地域の方の意見をより取り入れることや、地域の住民と生徒がかかわりを持てる時間やイベントの機会を取ればと感じる。一緒にすることで防災時にスムーズに実施できたりなどつながると思う。次年度はその点も含めて学校運営協議会の運営ができたらいと思う。そこでは外部機関と連携することを推進していく必要がある。この学校運営協議会があることで、生徒に対してどの様にはたらきかけができるかを審議していきたい。

○その他

- ・次年度の部活動は午後５時を活動終了時刻とする。
- ・大阪万博の招待事業は参加しない。